

平成 28 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2016

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ II (スウェーデン語) 講師
氏名 Name	當野能之
専門分野 Academic Field	スウェーデン語学・言語学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	①スウェーデン語文法事項に関する諸事項 ②スウェーデン語教材開発
<p>① スウェーデン語文法事項に関する諸事項</p> <p>a. スウェーデン語の不変化詞動詞</p> <p>スウェーデン語の不変化詞動詞 <i>upp</i> について、パラレルコーパスを用い、英語の <i>up</i> と比較研究を行った。その成果の一部は、6月18-19日に大阪大学で開催された International Workshop on Cognitive Grammar and Usage-Based Linguistics に於いて "Expression of Path in Motion Events in Swedish -With special reference to <i>Upp</i> 'up'" というタイトルで発表した。</p> <p>b. スウェーデン語の虚辞に関する統語意味論的分析</p> <p>連携研究者として参加している科研プロジェクト「聞き取り調査を活用した北欧バルト海地域諸語の統語的ゆれに関する微視的類型論研究」の中で、スウェーデン語の非人称構文に関して、9月に現地調査を行い、その成果を3月の研究成果発表会で報告した。来年度、言語学会等のシンポジウムでその成果を発表する予定である。</p> <p>② スウェーデン語教材開発</p> <p>大阪大学出版会から昨年度末に出版された教科書『世界の言語シリーズ 12・スウェーデン語』に準拠した語彙集を作成し、資料として発表した。今後授業で活用していく予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 當野 能之・清水 育男, 『『世界の言語シリーズ 12 スウェーデン語』語彙集』, 『IDUN-北欧研究-』22号, pp.127-154. 大阪大学 言語文化研究科 言語社会専攻 デンマーク語・スウェーデン語研究室, 2017年3月31日発行予定. 	